

私は就任以来、市民の皆さまが住み良さを実感していただき人々が集い、憩うような環境をつくるという信念のもと、将来を見据えたまちづくりにまい進してきました。新安来庁舎、総合文化ホール・アルテピア、給食センターの3大事業をはじめ市内全域への光ファイバー網、第一中学校、消防庁舎、南十神ポンプ場等の整備や全幼稚園、小・中学校の普通教室へのエアコン設置に取り組みました。

また、ソフト事業も、乳幼児医療費や予防接種費用、不妊治療費、新生児聴覚検査費用の助成、就学援助、放課後児童クラブの拡充、骨髄移植ドナー支援事業など他市に勝るとも劣らない数々の取り組みを進めてきました。

これからの安来市のまちづくりは、ソフト事業の更なる充実に努めてまいります。

一つは、「生活環境の向上」です。多様な働く場を作り、やりがいのある仕事、快適な居住環境、さらなる教育、福祉の充実、豊かな文化や芸術に触れ、安来に住んで良かったと思える幸福な生活を送れるまちを目指します。

もう一つは「地域資源のブラッシュアップ」です。今年には明治元年から150年です。明治時代の安来は、県内初の鉄道開通、安来節保存会や雲伯鉄鋼合資会社の設立、安来市名誉市民5名をはじめとする多くの文化人の誕生など、現在の都市基盤や産業・文化

の礎が育まれた画期的な時代でした。そして、大正、昭和初期にかけて産業が発達するとともに文化が花開き、陸海交通の要衝として、まちは活気に満ち溢れていました。

総合文化ホール・アルテピアの開館以来、多彩な開館イベント等に多くの方に来場いただいています。満席の会場を見るにつけ、このホールが市民の皆さんが待ち望んでいた施設であることを再認識しています。安来の文化や伝統がこの後も市民にしっかりと受け継がれていくであろうとの思いを感じ、大変嬉しく思います。

市が目指す将来像「人が集い 未来を拓くものづくりと文化のまち」に向け、主要施策である「結婚・出産・子育て支援」、「産業振興」、「住環境向上」、「魅力的な地域形成」、「広域連携」からなる総合戦略を着実に推進します。

平成30年度の予算編成

「第2次安来市総合計画」将来像の実現に向けた施策、「安来市

まち・ひと・しごと創生総合戦略」による人口減少対策と安来市の創生を目的とした施策への取り組みを重点的かつ着実に進めます。一方で、中期財政計画を踏まえ、費用対効果・事業規模・実施時期や終期の設定等を検証し、厳しい財政状況を職員一人ひとりが認識するとともに、緊急性、必要性の高い

市議会3月定例会 安来市長の施政方針

3月1日に開会した市議会定例会で、近藤市長が表明した平成30年度の市政運営の基本的な考え方や主要施策について概要をお知らせします。
※施策は総合戦略の基本目標ごとに説明しています。



人々が集い住み続ける、
魅力的なまちづくりを
進めます



事業を最優先し、所要の経費について
予算措置を行いました。

結婚・出産・子育て支援

▼結婚しやすい環境づくり、出産・子育て環境の充実、学校教育の充実・グローバル人材の育成により、結婚から子育てを切れ目なく支援します。

▼未婚化・晩婚化が少子化の大きな要因となっているため、市民団体等が行う婚活事業に対して新たに補助金を交付し、出会いの場の創出により、婚姻率の向上につなげます。

▼子育て世帯の保育ニーズに応えるため、島田・能義幼稚園を幼稚園型認定こども園へ移行し、3歳以上の幼児の教育・保育の提供の場を確保します。

▼市立城谷保育所は、業務移譲に向け指定管理者が平成31年4月開所予定で行う新築工事に補助金を交付します。

▼不妊治療費助成事業、新生児聴覚検査費用助成事業は、引き続き実施します。

▼新たな学校図書館図書管理システムを平成30年度から稼働させ、学校図書館の機能の充実を図り、子どもたちが主体的に学ぶ教育を推進します。

▼新たに伯太中学校、社日・荒島・赤江・広瀬・安田・母里小学校の7校で給食センターからの配食を開始します。引き続き子どもたちの健やかな成長のため、安全安心でおいしい給食の提供を通じて食育に努めます。

▼就学援助制度は、新入学学用品費の入学前支給の対象を小学校新入学まで拡充し、特別支援教育では特別支援教育支援員を増員するなど、一人ひとりの学びの支援を充実させます。

▼グローバル人材の育成のため、平成30年度にALTを5名増員し、32年度に完全実施となる新学習指導要領の小学校外国語教育に向けた取り組みを先行的に実施します。

産業振興による雇用の場の確保

▼工業・農林業振興と地域資源を活かした観光振興により、若者に魅力ある雇用の場を創出します。

▼商工業の振興は、既存立地企業や新規立地企業の新設・増設等に対し、企業立地雇用促進事業により奨励措置を講じます。

▼代表的な集積産業である特殊鋼関連産業をはじめとするものづくり企業での新製品および新技術の開発、取引拡大に向けた取り組みを支援します。

▼企業誘致を推進するため、新たな工業団地を整備します。

▼大塚・安田・宇賀荘第三・吉田地区の大区画ほ場整備により生産基盤を強化します。また、大郷地区の基幹農道を整備し、農産物や生産資材等の輸送の合理化を図ります。

▼農地および農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新、水質及び土壌等の保全活動を行う活動組織を支援します。



▲保育ニーズに対応するため幼稚園型認定こども園への移行を進め、子育てしやすい環境づくりに取り組みます。写真は能義幼稚園。▶小学校外国語教育に向けた取り組みを先行的に実施するためALTを増員します。写真は社日小学校3年生への英語での読み聞かせの様子。



▼担い手育成は、国の地域おこし協力隊制度を活用し、集落および地域の特性に合わせた施策を展開することで、地域農業の振興や地域活性へつなげます。

▼受け入れ集落、指導者、農地に加え、「住居」をパッケージ化して、U・Iターンによる新規就農者を誘致する仕組みにより、集落ビジョンの達成と定住を促進します。

▼水田農業経営は、40年以上続いた減反政策が廃止され、新たな米政策に向け、円滑な推進および飼料用米、麦、大豆等戦略作物の本作化を進め、経営安定化を図ります。

▼条件の不利な中山間地域等の農業の振興、共同活動を通して農地等の持つ多面的機能を維持し、集落の体制整備及び活性化を支援します。

▼9月に全国山城サミット、戦国尼子フェスティバルを同時開催し、整備が進む月山富田城跡を全国にPRし、誘客に結びつけます。

▼史跡富田城跡整備は、来訪者の利便性を向上するため、千畳平・馬乗馬場地区の整備、ガイドンス施設整備のため歴史資料館の改修等を行います。また、広瀬餅センターを改修し、特産品販売と飲食ブースを充実させます。

住環境の向上

住 宅の確保、移住者受け入れ体制の充実、まちなか等の利便性向上、安心・安全な地域づくりにより、

住環境を向上し、市民の定住意識を高めます。

▼ハローモニータウン汐彩の早期完売に向け、平成30年度からお客さまのニーズに沿った新たな分譲を進めます。

▼国道9号沿い等で交通に支障をきたす恐れのある建築物の耐震診断を助成するとともに、老朽危険建築物等の除却助成や空家等への対策を実施します。

▼市民およびU・Iターン希望者等の定住を進めるため、民間賃貸住宅家賃等の助成を行います。

▼地域おこし協力隊制度により移住した隊員の定住を図るため、任期終了後に起業する場合の経費を補助し、生活基盤の安定に向けた支援を行います。

▼市民交流の場、災害時避難の場として、安来庁舎建設事業の全工程を完成するとともに防災棟・防災公園の整備を行います。

▼（仮称）中海ふれあい公園整備は、市民の憩いの空間を創出するため、子供広場や駐車場、東屋の建築などを行います。

▼医師、看護師等の医療従事者の市内就職・定着を図るため、医療従事者を目指す中高生に対する講演や地域枠推薦者と行政、関係機関、市内医師等との交流を行います。

▼県地域医療構想に基づいた医療施設整備として、医療提供の確保のため、社会医療法人昌林会安来第一病院へ地域包括ケア病棟を含んだ新診療棟建設



▲木々の伐採が進み千畳平が見えるようになった月山富田城跡。背後には山頂がそびえます。▼生産コストの低減や地域農業の活性化の目的で大規模ほ場整備を進めます。写真は安田地区。▶農業経営の強化のため、戦略作物（大豆、麦、キャベツなど）の栽培を奨励しています。

- ▼を対象とした補助金を交付します。
- ▼介護保険事業は、第7期計画を基本とし、地域包括ケアシステムの構築を推進するため、中核的な機関である安来市地域包括支援センター、安来市在宅医療支援センターの機能強化と拡充を進めていきます。
- ▼障がい者支援は、今年度に策定する第3期障がい者基本計画に基づき、障がい者の自立や社会参加の支援等のための施策を総合的かつ計画的に推進します。
- ▼国民健康保健事業は、都道府県化に向けて円滑な移行に努めます。
- ▼市民体育館の耐震改修工事を進め、安全で安心して利用できるスポーツ施設を提供し、市民の健康増進を図ります。
- ▼地域防災力の中核をなす消防団は、布部分団消防拠点施設を建築し、また、安来分団の消防ポンプ自動車を更新します。
- ▼除雪体制については、除雪車を更新し、安全で円滑な道路網を確保するように努めます。

魅力的な地域形成

地域の拠点づくりと交通ネットワークの整備により、多種多様な地域を形成します。

- ▼比田・下山佐・安田交流センターの3施設の耐震補強工事を実施し、地域の拠点施設を整備します。
- ▼交流センターが、地域住民とともに

- 地域の課題を掘り下げ、その解決に向けた学習・実践活動を行う「がんばる地域おこし支援事業」を継続実施し、特色ある地域づくりにつなげます。
- ▼道路網の利便性向上のため、スマートインターチェンジの整備に向け、関係機関に要望・協議を進め、準備段階調査の採択を目指します。
- ▼安来木次線（切川2工区）、都市計画道路飯島線と安来市街地を東西に結ぶ市道安来港飯島線の拡幅改良を平成36年度での完了を目標に行います。
- ▼公共交通空白地域対策のため、比田地区で本格運行に向け、自治会輸送事業の実証実験を実施します。

広域連携で魅力ある圏域づくり

市は、日本海側有数の人口、経済圏域の一角を占めます。この圏域を構成する5市等と圏域市長会を組織し、スケールメリットを生かした取り組みを展開しています。

圏域版総合戦略による地方創生の実現に向け、圏域インバウンド機構の本格稼働によるインバウンドの推進をはじめ、産学・医工連携事業などによる力強い圏域産業の国内外への発信、圏域内インフラ整備促進に関する要望に関する連携強化など、構成市や経済界などと歩調を合わせて取り組めます。

※予算の概要については次号でお知らせします。



▲市民体育館の天井などの耐震化を進めます。



▲安来庁舎では車庫棟と駐車場を整備中です。



▲地域防災の要となる消防団の活動を応援していきます。



▲宇波地区の自治会輸送事業の様子。



▲市民の安心安全な暮らしを守ります。